

令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会

事業報告書

① 法人本部	1 P
② 障害児入所施設わかふじ寮	7 P
③ 放課後等デイサービス事業所わかふじ	15 P
④ 相談支援事業所わかふじ	21 P
⑤ 障害者支援施設レジデンスわかふじ	25 P
⑥ 障害者支援施設わかふじ寮	33 P
⑦ 多機能型事業所四万十工房	43 P
⑧ 生活介護事業所ごり工房	51 P
⑨ 共同生活援助事業所ぼっちり村	59 P



令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：法人本部事務局



# 令和2年度 法人本部 事業報告書

## 1. 事業概要

令和2年度は、新型コロナウイルスの影響で、予定をされていた事業等が中止となり、利用者の施設外活動等も大幅に減少され、また、感染拡大防止のための外泊や面会等の制限により、ご家族ともどもに不安と不便を感じさせてしまった1年でありました。

法人本部の事業においても、法人の諸課題に対する検討会として位置付けています「ワーキング会議」が、8月3日に1回開催したのみとなり、十分な検討がなされずに課題が先送りとなっています。

そうした状況下において、重点目標でありました「法人理念と基本方針」を策定しました。今後は、全ての職員が共有し、理想とする方向に向けて総力を挙げて取り組んでまいります。

さらに、法人本部業務の強化につきましては、社会福祉法人法改正の主眼であります経営組織のガバナンス強化をはじめ、事業運営において透明性を向上し、財務規律を強化することができました。今後は、地域における公益的な取り組みについて検討してまいります。

人事管理としましては、正職員への登用試験を実施し、7名を正職員として採用しました。これは、昨年度中に退職された職員の補充と、全職員に占める正職員の比率を高めることを目的に、過去2年度よりも多くの職員を採用いたしました。

情報発信につきましては、次年度への課題として取り組んでまいります。

各拠点において実施した主な事業等は、障害児入所施設わかふじ寮の定員を10名、障害者支援施設レジデンスわかふじを定員20名とする大規模改修工事を実施し、12月1日から運用を開始しています。また、蕨岡地区の簡易水道に加入し、利用者に対してこれまで以上に安全な飲料水の提供が可能となりました。

今後も、利用者が満足されるサービスを提供するとともに、社会から信頼される法人体制を維持し、全員が一体感を持った組織を構築してまいります。

## 2. 実施項目

- (1) 法人理念と基本方針の策定
- (2) 法人本部機能の充実
- (3) 人事管理
- (4) 法人の情報発信
- (5) 各施設の事業の見直し

## 3. 工事関係（固定資産）

事業所名	工事内容
障害児入所施設 わかふじ寮 障害者支援施設 レジデンスわかふじ	寮舎2階改修工事
障害者支援施設 わかふじ寮	蕨岡地区簡易水道への加入

#### 4. 会議等

開催日	内 容
4月11日	第1回 管理者会
4月6日	第2回 管理者会
4月8日	第3回 管理者会
4月21日	第4回 管理者会
4月30日	第5回 管理者会
5月11日	第6回 管理者会
5月26日	決算監査
6月1日	第7回 管理者会
6月9日	第1回 理事会
6月11日	第8回 管理者会
6月22日	第9回 管理者会
6月24日	定時評議員会
7月6日	第10回 管理者会
7月13日	第11回 管理者会
7月27日	第12回 管理者会
8月3日	第1回 ワーキング会議
8月5日	第13回 管理者会
8月24日	第14回 管理者会
9月7日	第15回 管理者会
9月24日	第16回 管理者会
9月29日	第17回 管理者会
10月5日	第18回 管理者会
10月19日	第19回 管理者会
11月2日	第20回 管理者会
11月10日	第2回 理事会
	第21回 管理者会
11月16日	第22回 管理者会
11月17日	第1回 臨時評議員会 書面決議
12月7日	第23回 管理者会
12月14日	第24回 管理者会
1月4日	第25回 管理者会
1月15日	第26回 管理者会
1月28日	第27回 管理者会
2月8日	第28回 管理者会
2月22日	第29回 管理者会
3月3日	第30回 管理者会
3月10日	第31回 管理者会
	第3回 理事会
3月19日	第32回 管理者会
3月23日	第2回 臨時評議員会

## 5. 人事異動

実施日	内 容
4月 1日	第1回 人事異動
7月 1日	第2回 人事異動
12月 1日	第3回 人事異動

## 6. 採用、退職

事業所名	雇用形態	採用	異動 (+)	異動 (-)	退職	合計			
						採用	異動	退職	増減
法人本部						0	0	0	0
児童部	正職員	2	1		3	3	1	7	-3
	臨時職員	1			4				
放デイ	再雇用職員				1	1	0	1	0
	パート職員	1							
相談支援						0	0	0	0
レジデンス	正職員	1	1			1	2	5	-2
	臨時職員		1		2				
	再雇用職員				1				
	パート職員				2				
蕨岡成人部	正職員		1	2	2	1	-2	3	-4
	臨時職員	1		1	1				
四万十工房	正職員	1		1		2	-1	1	0
	臨時職員	1			1				
ごり工房	臨時職員				1	0	0	1	-1
ぼっちり村	世話人	4			3	4	0	5	-1
	パート職員				2				
合計						12	0	23	-11

※臨時職員退職者のうち3名（児童部 1名・レジデンス 1名・四万十工房 1名）は、正職員昇格試験に合格したため、正職員として採用しました。

## 7. 研修会及び活動等

開催日	内 容
2月 10日	保険会社主催による総合保険制度説明会出席
2月 19日	社会福祉法人決算実務研修会参加
通 年	土岐神社管理

## 8. 今後の課題

今後の課題として、障害児入所施設わかふじ寮の利用者の減少による経営の困難性、及び指定児童発達支援事業と指定保育所等訪問支援事業の再開について、市町村や関係機関等との協議を行いながら取り組まなければなりません。

障害者支援施設わかふじ寮の定員を減少したことによる職員の適正配置についても取り組まなければなりません。

さらに、就労継続支援A型事業所の経営は厳しい状況にあり、これまで以上に販路の拡大に取り組み、経営の安定に努めなければなりません。そのためにも、資格保有者など人材の育成が急務です。



令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：福祉型障害児入所施設 わかふじ寮

事業種名：福祉型障害児入所施設

短期入所事業

日中一時事業



# 令和 2 年度 障害児入所施設わかふじ寮 事業報告書

## 1. 事業の内容

- ・第 1 種社会福祉事業 福祉型障害児入所施設

以下、平成 29 年 8 月から中止

- ・第 2 種社会福祉事業 短期入所事業  
地域生活支援事業  
日中一時支援事業（市町村委託事業）
- ・その他の事業 障害児等療育支援事業（高知県委託事業）

## 2. 購入・工事関係

実施日	内容
7 月 19 日～11 月 18 日	寮舎 2 階改修工事

## 3. 委託契約

実施日	内容
11 月 1 日～3 月 31 日	古津賀拠点給食業務委託

## 4. 事業運営の総括

令和 2 年度は、寮舎 2 階改修工事及び改修工事後の定員変更、給食業務の外部委託を無事に終えることができました。

寮舎 2 階改修工事及び改修工事後の定員変更は、平成 30 年度から計画され、令和 2 年度の達成を目指してきました。この 3 か年計画は、いわゆる「過齢児問題」の解決を目的としたものです。

「過齢児問題」とは、障害児入所施設に入所している 18 歳以上の障害者に対応するための「みなし規定」（平成 22 年の児童福祉法の改正で、障害児入所施設の 18 歳以上の障害者については障害者施策で対応することとなり、障害児入所施設の指定をもって、障害者支援施設の基準を満たしているとみなす規定）の期限が、平成 30 年 3 月 31 日と迫ってきていた中で、18 歳以上の入所者の移行先を確保しなければいけないといったものです。障害者支援施設やグループホームに空床がない、空床があっても重い障害者の受け入れができない等の理由から移行先が見つからず、18 歳以上の障害者を抱える障害児入所施設にとって解決の大変難しい問題でした。

当法人では、その解決方法として、障害者支援施設を新設して、障害児入所施設に入所している 18 歳以上の障害者を受け入れることとし、同時に障害児入所施設の定員を減少させることとしました。

計画の第 1 弾は、平成 31 年 4 月 1 日に、既存の部屋数と面積に合わせて、障害者支援施設レジデンスわかふじ（定員 12 名）を新設。障害児入所施設わかふじ寮の定員を 40 名から 18 名に減少させ、児者併設としました。

続いて、令和 2 年 7 月から寮舎 2 階改修工事に取り掛かりました。工事期間中は、社会

福祉法人高知県知的障害者育成会様所有の旧中村通勤寮の建物をお借りし、仮住まいさせていただきました。改修工事完成後の令和 2 年 12 月 1 日に障害者支援施設レジデンスわかふじの定員を 12 名から 20 名に増員、障害児入所施設わかふじ寮の定員を 18 名から 10 名に減員しました。レジデンスわかふじでは、令和 2 年 12 月 1 日から 4 月 1 日までの期間に、8 名の受け入れを行い、定員 20 名に対して現員 20 名の満床としました。これをもって、3 か年計画の終了となりました。

給食業務の外部委託は、慢性的な調理員不足が長年解消されず、令和 3 年度以降の実現に向けて、平成 31 年から情報収集に着手していました。ところが、令和 2 年 6 月に調理員 1 名が退職したことによって、1 日 3 食の給食提供が困難になり、週 3 日程度夕食をお弁当提供せざるを得ない状況になりました。食生活の質は、健康や発育の大きく影響することから、早急な対策が必要と判断し、給食業務の外部委託を決断しました。令和 2 年 11 月 1 日から外部委託となりましたが、大きな混乱もなく業務を引き継ぐことができました。

総じて、利用者にとっても職員にとっても環境の変化が著しい 1 年でした。慢性的な人員不足のうえ、環境変化を苦手とする利用者を多く抱え、大きな事故なく 1 年を終えることができたのは、職員が同じ目標を持って取り組めたからだと思います。利用者が穏やかに暮らすためには、利用者の障害特性を的確にとらえ、特性に配慮した支援が統一的に展開されなければいけません。目まぐるしい環境変化に合わせて、適切に支援方法を修正し、即時に職員間で共有する手順を繰り返しました。大変な 1 年でしたが、チーム支援の基盤作りができたように思います。次年度以降も、チーム支援力が向上するように取り組んでいきます。

また、労働環境の改善を目的として、令和 2 年 4 月 1 日から宿直体制から夜勤体制に移行いたしました。宿直時間帯に利用児者の対応に入る頻度が多く、大きな負担となっていました。夜勤体制に転換したことで、拘束時間が 24 時間から 16 時間に短縮され、集中力が途切れたり疲労感を強く感じたりすることが軽減されたとの意見が多く聞かれました。しかし、慢性的な人員不足が解消できず、十分な改善には至りませんでした。今後も職員の意見を聞きながら、長く安心して働ける職場作りに努めます。

平成 29 年 8 月から休止している日中一時支援事業と短期入所事業については、慢性的な人員不足に加え、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、再開の目途がたちませんでした。次年度以降の課題とします。

## 5. 利用者の状況

### (1) 定員と現員（令和 3 年 3 月 31 日）

定員	現員	利用の形態
10 名	9 名	契約 1 名
		措置 8 名

### (2) 通学の状況（令和 3 年 3 月 31 日）

学校名		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
中村特別支援学校	小学部	0	1	0	0	1	0	2
	中学部	1	1	0	0	0	0	2
	高等部	3	1	1	0	0	0	5

(3) 障害者手帳

	A1	A2	B1	B2
療育手帳	4	2	2	1

	1級	2級	3級	4級
身障手帳	1	1	0	0

視覚障害（全盲）1名・肢体不自由1名

(4) 利用実績

	延べ人数	延べ日数	利用率
措置児童	9名	3393日	28%
契約児童	3名	936日	
日中一時支援事業	0名	0日	0%
短期入所支援事業	0名	0日	0%

6. 療育の状況

(1) 1日の過ごし方

【一日のスケジュール】

学校登校日

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	
起床	朝食	身支度	学校生活 8:30 登校送り 14:30~15:51 下校お迎え							おやつ	入浴	余暇	夕食	身支度	余暇	就寝	

学校休業日

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
起床	朝食	身支度	園内活動 宿題 訓練など			昼食	園外活動 ドライブ 散歩など		おやつ	入浴	余暇	夕食	身支度	余暇	就寝	

(2) 年間行事

実施日	場所	内容
8月 7日	わかふじ寮	バーベキュー
10月 12日	わかふじ寮	土岐神社祭り
10月 29日	わかふじ寮	ハロウィンパーティー
12月 2日	わかふじ寮	改修工事完成セレモニー
12月 25日	わかふじ寮	クリスマス会
12月 25日	わかふじ寮	餅つき大会
2月 5日	わかふじ寮	節分豆まき
2月 22日	わかふじ寮	卒業生を送る会

(3) 健康管理

	項目	内容
定期健康診断	身体計測	身長（年2回）体重（毎月）
	血圧測定	主治医の指示で実施
	尿検査	1回目 5月20日 2回目 12月10日
	聴力検査	5月頃 ※学校検診 要受診となった場合は対応します
	視力検査	5月頃 ※学校検診 要受診となった場合は対応します
	血液検査	年1回 ※医師の判断で省略あり
	内科検診	5月頃 ※学校検診 要受診となった場合は対応します 2回目 12月頃
	精神科検診	8月21日
	歯科検診	5月頃 ※学校検診 要受診となった場合は対応します
定期受診	原則、看護師が行います。服薬の管理もします。	
インフルエンザ対策	インフルエンザワクチン接種（11月16日～2月14日）	
感染性胃腸炎対策	感染予防職場研修（全職員対象：10月） 感染予防外部研修へ派遣（感染対策委員）	
その他の感染症	感染症の動向を周知し、必要な予防策を実施します。	

(4) 受診の状況

	小児科	内科	精神科	外科	整形外	その他	歯科	合計
受診回数	41回	5回	12回	1回	3回	10回	21回	93回

(5) 入院の状況

0件

7. 事故及びヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	1	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	5
事故報告	2	3	2	1	0	2	0	0	1	0	0	0	11

行政事故報告：8月22日 怪我 他児が左手中指に噛みつき全爪剥離

8. 苦情等

苦情受付・・・0件

## 9. 職員体制

### (1) 職員体制（令和3年3月31日現在 在職者数）

職種	正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者	1					1
児童発達支援管理責任者					1	1
保育士	2			1		3
児童指導員	2		1			3
指導員	1					1
看護職員	1					1
栄養士	1					1
事務職員等	1		1	3		5
合計	9	0	2	4	1	16

※ 他事業所との兼務職員：管理者1名、看護師1名、栄養士1名、事務員等3名

※ 事務職員等にはハウスキーパー（パート3名）を含む

## 10. 人材育成研修

### (1) 内部研修

開催日	研修名
毎月 第2木曜日	自閉症支援に関する専門アドバイザー招聘 ケース検討会
毎月 第2金曜日	ミュージックケア講師招聘

### (2) 外部研修

開催日	場所	研修名	参加人数
7月16日	四万十市	ミュージックケア初級研修	1名
11月4日	高知市	強度行動障害者支援従事者基礎研修	1名
11月29日	WEB	新型コロナウイルス感染症研修	1名
1月29日	黒潮町	障害者スポーツ指導員養成講習	1名
2月6日	黒潮町	障害者スポーツ指導員養成講習	1名
2月9日	高知市	外国人介護人材受け入れセミナー	1名

## 10. 避難訓練及び防災教育

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
4月25日	火災		○		○
5月30日	火災		○		○
6月20日	火災	○			
7月24日	火災		○		○
8月29日	火災・地震		○		○
9月1日	地震(シェイクアウト訓練)				○
9月28日	火災		○		○
10月8日	地震(福祉協会通報訓練)			○	
10月24日	火災・地震		○		○
11月21日	火災	○			

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
12月26日	火災		○		○
1月16日	火災		○		○
2月27日	火災・風水害		○		○
3月26日	火災・地震		○		○

令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：放課後等デイサービス事業所 わかふじ

事業種名：放課後等デイサービス事業



# 令和2年度 放課後等デイサービス事業所わかふじ 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

### (1) 事業の内容

- ・第2種社会福祉事業 放課後等デイサービス事業

以下、平成31年4月から休止

- ・第2種社会福祉事業 児童発達支援事業  
保育所等訪問支援事業

## 2. 購入・工事関係

なし

## 3. 事業運営の総括

平成31年4月から児童発達支援事業及び保育所等訪問支援事業は休止しています。放課後等デイサービス事業の1日の定員は10名で、1か月を平均して13名(利用率130%)まで利用が可能です。年間の平均利用率は96%でした。新型コロナウイルス感染症の影響による学校休業等があり、前年度と比較して利用率は低下しました。支援費収入は低下しましたが、保育士1名が退職し欠員補充できなかつたため、人員配置の側面では救われました。

利用児は、特別支援学校の児童・生徒が7割程度、特別支援学級の児童が3割程度の構成です。特別支援学級に特別支援学校に通う子どもたちの多くは知的障害があります。普通学校の特別支援学級に通う子どもたちは、知的障害を伴わない発達障害か知的障害があっても軽い場合が多いです。ふたつのタイプの子どもたちが、同じ時間、同じ場所で過ごしていますが、知的障害を伴わない発達障害の子どもが、知的障害の子どものふるまいや行動に対して、我慢できなかつたり、怖がったりしてパニックになることがあります。前年度に引き続いて、それぞれの子どもが穏やかに過ごせるように工夫しましたが、難しさも感じました。

前年度の事業報告で、療育が困難な子ども(15歳男児 自閉症)について触れました。こだわりが強く、他害(主に噛みつき)がある子どもで、療育にあたる保育士等が恐怖心を感じるほどでした。本児がパニックを起こすと、その時の活動や日課が大きく乱れ、他児の情緒にも影響する状況でした。利用継続の可否について思案していましたが、いつのまにかパニックの報告が少なくなっていることに気づきました。療育にあたる保育士に状況を聞くと、本児が作ったクリスマスオーナメントを見せてくれました。本児の器用さや几帳面な性格を生かし、活動に工作を取り入れたことで、パニックの回数はずいぶん減ったとのことでした。大袈裟ですが、根気よく子どもに向き合って、子どもの良い面を見つけて伸ばしてくれたことは、子どもの人生に影響したように思いました。子どもにとって良い環境を整えてくれた保育士に敬意を表したい気持ちとなりました。

次年度以降も、障害を抱えた子どもとその家族の支えとなれるよう、職員一人ひとりの資質を高め、求められる事業所を目指します。

#### 4. 利用者の状況

(1) 定員と現員（令和3年3月31日）

	定員	契約人数
児童発達支援センター 保育所訪問支援事業	休止	0名
放課後等デイサービス	10名	26名

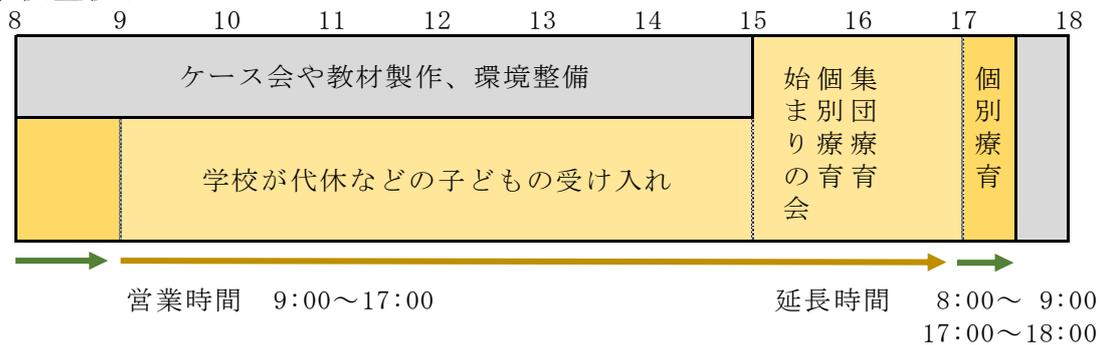
(2) 利用実績

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
契約人数	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26
利用人数	22	20	22	23	22	23	22	23	23	23	22	22
利用件数	200	202	284	279	214	251	264	230	243	214	215	240
開所日数	26	26	26	27	21	26	27	25	24	26	24	27
利用率	88%	88%	88%	97%	105%	101%	99%	96%	97%	92%	91%	87%

#### 5. 療育の状況

(1) 1日の過ごし方

学校登校日



学校休業日



(2) 年間行事

実施日	場所	内容
5月13日	わかふじ寮	4月・5月合同お誕生日会
6月24日	わかふじ寮	6月お誕生日会
7月8日	わかふじ寮	七夕・カップケーキ作り
7月31日	わかふじ寮	7月お誕生日会
8月12日	わかふじ寮	冷やしうどん作り
8月18日	窪川方面	ドライブ&お買い物※お買い物は中止
8月21日	わかふじ寮	8月お誕生日会(カートドック)
10月28日	わかふじ寮	10月お誕生日会・ハロウィン
12月23日	わかふじ寮	クリスマス会
1月22日	わかふじ寮	1月お誕生日会(パン釣り競争)
2月3日	わかふじ寮	節分豆まき
2月17日	わかふじ寮	2月お誕生日会(お菓子作り)
3月9日	わかふじ寮	バーベキュー
3月10日	わかふじ寮	お誕生日会・卒業お祝い・お別れ会

6. 事故及びヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

7. 苦情等

苦情受付・・・0件

8. 職員体制

(1) 職員体制(令和3年3月31日現在 在職者数)

職種	正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者	1					1
児童発達支援管理責任者	1					1
保育士				1	1	2
児童指導員	1		2			2
理学療法士				1		1
看護職員	1					1
事務員等	1		1			2
合計	5	0	3	2	1	10

※ 他事業所との兼務職員：管理者1名、児童指導員1名、看護職員1名、事務職員等2名

## 9. 人材育成研修

### (1) 内部研修

開催日	研修名
毎月 第2木曜日	自閉症支援に関する専門アドバイザー招聘 ケース検討会
毎月 第2金曜日	ミュージックケア講師招聘

### (2) 外部研修

開催日	場所	研修名	参加人数
7月16日	四万十市	ミュージックケア初級研修	1名
11月17日	高知市	相談支援従事者初任者研修	1名
12月15日	高知市	相談支援従事者初任者研修	1名
1月19日	高知市	相談支援従事者初任者研修	1名

## 10. 避難訓練及び防災教育 ※併設の入所施設と合同で実施

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
4月25日	火災		○		○
5月30日	火災		○		○
6月20日	火災	○			
7月24日	火災		○		○
8月29日	火災・地震		○		○
9月1日	地震（シェイクアウト訓練）				○
9月28日	火災		○		○
10月8日	地震（福祉協会通報訓練）			○	
10月24日	火災・地震		○		○
11月21日	火災	○			
12月26日	火災		○		○
1月16日	火災		○		○
2月27日	火災・風水害		○		○
3月26日	火災・地震		○		○

令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：相談支援事業所 わかふじ

事業種名：指定特定相談支援事業  
指定障害児相談支援事業



## 令和2年度 相談支援事業所わかふじ 事業報告書

### 1. 事業の内容

・第2種社会福祉事業 特定相談支援事業

### 2. 購入・工事関係

なし

### 3. 事業運営の総括

利用者やその家族からの相談に応じ、利用者がその心身の状況に応じた日常生活を営むことができるよう、情報の提供や権利擁護のために必要な援助を行うとともに、利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った適切な相談支援の提供を行いました。

### 4. 利用者・児の状況

#### (1) 幡多地域6市町村

	四万十市	宿毛市	土佐清水市	黒潮町	大月町	三原村	合計
障害者	41	17	14	6	6	1	85
障害児	9	0	1	0	0	2	12
合計	50	17	15	6	6	3	97

#### (2) 幡多地域以外

	四万十町	須崎市	高知市	香南市	香美市	南国市	その他	合計
障害者	11	5	14	2	3	2	5	42
障害児	1	0	0	0	0	0	0	1
合計	12	5	14	2	3	2	5	43

#### (3) 利用実績（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
計画作成	1	3	5	2	4	4	6	6	8	7	7	10	63
モニタリング	29	19	17	18	13	21	25	12	15	12	12	8	201
合計	30	22	22	20	17	25	31	18	23	19	19	18	264

### 5. 苦情等

苦情件数・・・0件

### 6. 職員体制

#### (1) 職員体制（令和3年3月31日現在 在職者数）

職種	正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者	1	0	0	0	0	1
相談支援専門員	1	0	0	0	0	1
合計	2	0	0	0	0	2

※ 他事業所との兼務職員：管理者1名



令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：障害者支援施設 レジデンスわかふじ

事業種名：障害者支援施設



# 令和 2 年度 障害者支援施設レジデンスわかふじ 事業報告書

## 1. 事業の内容

- ・第 1 種社会福祉事業 施設入所支援及び生活介護

## 2. 購入・工事関係

実施日	内容
7 月 19 日～11 月 18 日	寮舎 2 階改修工事

## 3. 委託契約

実施日	内容
11 月 1 日～3 月 31 日	古津賀拠点給食業務委託

## 4. 事業運営の総括

令和 2 年度は、寮舎 2 階改修工事及び改修工事後の定員変更、給食業務の外部委託を無事に終えることができました。

寮舎 2 階改修工事及び改修工事後の定員変更は、平成 30 年度から計画され、令和 2 年度の達成を目指してきました。この 3 か年計画は、いわゆる「過齡児問題」の解決を目的としたものです。

「過齡児問題」とは、障害児入所施設に入所している 18 歳以上の障害者に対応するための「みなし規定」(平成 22 年の児童福祉法の改正で、障害児入所施設の 18 歳以上の障害者については障害者施策で対応することとなり、障害児入所施設の指定をもって、障害者支援施設の基準を満たしているとみなす規定)の期限が、平成 30 年 3 月 31 日と迫ってきていた中で、18 歳以上の入所者の移行先を確保しなければいけないといったものです。障害者支援施設やグループホームに空床がない、空床があっても重い障害者の受け入れができない等の理由から、移行先が見つからず、18 歳以上の障害者を抱える障害児入所施設にとって解決の大変難しい問題でした。

当法人では、その解決方法として、障害者支援施設を新設して、障害児入所施設に入所している 18 歳以上の障害者を受け入れることとし、同時に障害児入所施設の定員を減少させることとしました。

計画の第 1 弾は、平成 31 年 4 月 1 日に、既存の部屋数と面積に合わせて、障害者支援施設レジデンスわかふじ(定員 12 名)を新設、障害児入所施設わかふじ寮の定員を 40 名から 18 名に減少させ、児者併設としました。

続いて、令和 2 年 7 月から寮舎 2 階改修工事に取り掛かりました。工事期間中は、社会福祉法人高知県知的障害者育成会様所有の旧中村通勤寮の建物をお借りし、仮住まいさせていただきました。改修工事完成後の令和 2 年 12 月 1 日に障害者支援施設レジデンスわかふじの定員を 12 名から 20 名に増加、障害児入所施設わかふじ寮の定員を 18 名から 10 名に減少しました。レジデンスわかふじでは、令和 2 年 12 月 1 日から 4 月 1 日までの期間に、8 名の受け入れを行い、定員 20 名に対して現員 20 名の満床としました。これを

もって、3か年計画の終了となりました。

給食業務の外部委託は、慢性的な調理員不足が長年解消されず、令和3年度以降の実現に向けて、平成31年から情報収集に着手していました。ところが、令和2年6月に調理員1名が退職したことによって、1日3食の給食提供が困難になり、週3日程度夕食をお弁当提供せざるを得ない状況になりました。食生活の質は、健康や発育の大きく影響することから、早急な対策が必要と判断し、給食業務の外部委託を決断しました。令和2年11月1日から外部委託となりましたが、大きな混乱なく業務を引き継ぐことができました。

総じて、利用者にとっても職員にとっても環境の変化が著しい1年でした。慢性的な人員不足のうえ、環境変化を苦手とする利用者を多く抱え、大きな事故なく1年を終えることができたのは、職員が同じ目標を持って取り組めたからだと思います。利用者が穏やかに暮らすためには、利用者の障害特性を的確にとらえ、特性に配慮した支援が統一的に展開されなければいけません。目まぐるしい環境変化に合わせて、適切に支援方法を修正し、即時に職員間で共有する手順を繰り返しました。大変な1年でしたが、チーム支援の基盤作りができたように思います。次年度以降も、チーム支援力が向上するように取り組んでいきます。

また、労働環境の改善を目的として、令和2年4月1日から宿直体制から夜勤体制に移行いたしました。宿直時間帯に利用児者の対応に入る頻度が多く、大きな負担となっていました。夜勤体制に転換したことで、拘束時間が24時間から16時間に短縮され、集中力が途切れたり疲労感を強く感じたりすることが軽減されたとの意見が多く聞かれました。しかし、慢性的な人員不足が解消できず、十分な改善には至りませんでした。今後も職員の意見を聞きながら、長く安心して働ける職場作りに努めます。

現在、日中一時支援事業と短期入所事業の指定は受けていません。地域のニーズが高い事業ですので、併設の障害児入所施設での事業再開と合わせて、検討していきます。

## 5. 利用者の状況

### (1) 定員と現員（令和3年3月31日）

	定員	現員
施設入所支援	20名	19名
生活介護	20名	19名

### (2) 障害支援区分

区分	区分4	区分5	区分6
人数	3名	9名	7名

平均区分 5.2

### (3) 障害者手帳

	A1	A2	B1	B2
療育手帳	14	5	0	0

	1級	2級	3級	4級
身障手帳	2	2	0	0

### (4) 平均年齢

年齢	19歳以下	20～25歳	25～30歳	30歳以上
人数	1名	5名	3名	10名

平均年齢 29.5歳

(5) 利用実績

	延べ人数	延べ日数	利用率
施設入所支援	156名	4617日	74.4%～60.7%
生活介護	162名	3449日	99.8%～80.7%

利用率は定員変更前後で変動あり。令和2年12月1日から段階的に8名の利用者を受け入れ、令和3年4月に満床となる。

6. 支援の状況

(1) 1日の過ごし方

【一日のスケジュール】

6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
	起床	朝食	身支度	日中活動 ドライブ 散歩など		昼食	余暇	日中活動 ドライブ 散歩など		入浴	余暇	夕食	身支度	余暇		就寝

(2) 年間行事

実施日	場所	内容
8月7日	わかふじ寮	バーベキュー
10月12日	わかふじ寮	土岐神社祭り
10月29日	わかふじ寮	ハロウィンパーティー
12月2日	わかふじ寮	改修工事完成セレモニー
12月25日	わかふじ寮	クリスマス会
12月25日	わかふじ寮	餅つき大会
2月5日	わかふじ寮	節分豆まき
2月22日	わかふじ寮	卒業生を送る会

(3) 健康管理

	項目	内容
定期健康診断	身体計測	身長（年2回）体重（月1回）腹囲（年2回）
	血圧測定	40歳未満（月1回）40歳以上（月2回）
	尿検査	1回目 5月20日 2回目 12月10日
	血液検査	治療中の疾患がある方は主治医の指示で実施。 治療中の疾患がない方は協力医療機関で実施。
	胸部レントゲン	11月6日
	心電図検査	40歳以上 ※医師の指示による
	内科検診及び	治療中の疾患がある方は主治医の指示で実施。
	精神科検診	8月21日
	歯科検診	年1回（通年）
定期受診		原則、看護師が行います。服薬の管理もします。
インフルエンザ対策		インフルエンザワクチン接種（11月16日～2月14日）
感染性胃腸炎対策		感染予防職場研修（全職員対象：10月） 感染予防外部研修へ派遣（感染対策委員）
その他の感染症		感染症の動向を周知し、必要な予防策を実施します。

(4) 受診の状況

	小児科	内科	精神科	外科	整形外	その他	歯科	合計
受診回数	8回	16回	80回	20回	0回	5回	18回	147回

(5) 入院の状況

2件

7. 事故及びヒヤリハット

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	3	0	2	0	0	0	0	0	3	0	1	0	9
事故報告	3	2	1	3	10	3	3	0	3	4	6	1	39

行政事故報告：① 5月4日 自傷 右眉上2.5cm裂傷のため縫合する

② 2月5日 転倒 転倒した後頭部を床で打つ。急性硬膜下血腫のため入院。

8. 苦情等

苦情受付・・・1件

受付日	令和2年12月23日
事業所	障害者支援施設レジデンスわかふじ
内容	不在着信があり、折り返し施設に電話したが、電話をかけた者が誰か分からないと言われた。誰が電話をしたのかきちんと調べてほしい。
対応	苦情の申し出があった直後から電話をかけた職員を探したが判明しなかった。受話器発信履歴にも残っておらず、意図的に電話したのではなく、取り扱いの誤りで発信してしまったと思われる。そのことを丁寧に説明し謝罪するが納得されず、NTTに通話履歴照会を依頼するが通話履歴がなく判明しなかった。最終的には、職員の接遇力を今後も向上させることで施設長の謝罪を受け入れていただいた。

9. 職員体制

(1) 職員体制（令和3年3月31日現在 在職者数）

職種	正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者	1					1
サービス管理責任者	1					1
生活支援員	3	1	6	1		11
看護職員	1					1
栄養士	1					1
事務職員等	1		1	1		3
合計	8	1	7	2	0	18

※ 他事業所との兼務職員：管理者1名、看護職員1名、栄養士1名、事務職員等3名

※ 事務職員等にはハウスキーパー（パート1名）を含む

## 10. 人材育成研修

### (1) 内部研修

開催日	研修名
毎月 第2木曜日	自閉症支援に関する専門アドバイザー招聘 ケース検討会
毎月 第2金曜日	ミュージックケア講師招聘

### (2) 外部研修

開催日	場所	研修名	参加人数
8月31日	黒潮町	安全運転管理者講習	1名

## 11. 避難訓練及び防災教育

実施日	訓練想定	総合訓練	消火訓練	通報訓練	避難訓練
4月25日	火災		○		○
5月30日	火災		○		○
6月20日	火災	○			
7月24日	火災		○		○
8月29日	火災・地震		○		○
9月1日	地震(シェイクアウト訓練)				○
9月28日	火災		○		○
10月8日	地震(福祉協会通報訓練)			○	
10月24日	火災・地震		○		○
11月21日	火災	○			
12月26日	火災		○		○
1月16日	火災		○		○
2月27日	火災・風水害		○		○
3月26日	火災・地震		○		○



令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：障害者支援施設 わかふじ寮

事業種名：施設入所支援及び生活介護

短期入所事業

日中一時支援事業（市町村委託事業）

障害児等療育支援事業（高知県委託事業）



# 令和2年度 障害者支援施設わかふじ寮 事業報告書

## 1. 【令和2年度の重点課題】

### (1) 日中活動支援の充実

- ① 日中活動支援をより充実させる為に、活動時間は午前 9:30～11:30、午後 13:30～15:30 とし、午前を作業的な活動、午後をレクリエーション的な活動に充て、障害特性や好きなこと、できることをアセスメントしながら、本人に合った内容に参加していただきました。
- ② 作業的な活動では、「役割を持つ」ことが大切と考え、屋外作業と屋内作業に分け、作業能力に合わせて、できることをできる範囲で取り組める支援を行いました。高齢や障害が重い方は、ご自身の身体機能を維持するための軽運動やリハビリを作業と考え支援を行いました。
- ③ 屋外作業は農耕作業を主軸とし、様々な野菜作りを年間計画に沿って行い、農耕作業以外では花壇の手入れや養鶏作業、施設周辺の環境整備を行いました。
- ④ スピリットアート展出品のための創作活動の時間を確保し、利用者の希望を聞きながら、出展数を増やせるように努めました。

### (2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

- ① 虐待防止委員会を中心として、全職員が虐待防止マニュアルを遵守し、虐待及び不適切支援防止に取り組みました。

### (3) 働きがいのある職場づくり

- ① 職員が提案や意見を述べやすいような職場環境づくりを行いました。
- ② 正職員登用試験や資格試験などに積極的に挑戦してもらえるような体制づくりを行いました。

## 2. 購入・工事関係

### (1) 購入関係

- ① 令和2年8月 → 車椅子対応車両購入
- ② コロナ感染症対策補助金対象事業で衛生用品購入

### (2) 工事関係

- ① 令和2年11月 → 蕨岡地区簡易水道への加入工事
- ② 令和3年3月 → 改築棟サンルーム及び居室のガラス窓の飛散防止加工（フィルム）を補助金事業で実施

### 3. 利用者の状況

#### (1) 利用者定員・現員

種別		定員		現員 (R03.03.31)	
全体	入所	53名		43名	
	短期	3名		3名	
建物別 (構造上の定員)	新築棟 (男性)	入所	29名 (個室 29)		25名
		短期	1名 (個室 1)		1名
	改築棟 (女性)	入所	24名 (個室 22 + 2人部屋 1)		18名
		短期	2名 (2人部屋 1)		1名

#### (2) 障害支援区分 (平均障害支援区分 5.1 配置基準 1.7 : 1)

障害支援区分	男性	女性	合計	割合
区分4 (重度加算対象者)	6名 (1名)	4名 (1名)	10名 (2名)	23.3%
区分5 (重度加算対象者)	10名 (7名)	7名 (6名)	17名 (13名)	39.5%
区分6 (重度加算対象者)	9名 (9名)	7名 (5名)	16名 (14名)	37.2%
合計	25名 (17名)	18名 (12名)	43名 (29名)	100%

#### (3) 利用者平均年齢 39.7歳 (男性 41.0歳・女性 37.9歳)

年齢	男性	女性	合計
10代	0名	0名	0名
20代	3名	6名	9名 (21%)
30代	6名	6名	12名 (28%)
40代	14名	3名	17名 (40%)
50代	1名	2名	3名 (7%)
60代	1名	0名	1名 (2%)
70代	0名	1名	1名 (2%)
合計	25名 (58%)	18名 (42%)	43名

#### 4. 利用者支援の内容

##### (1) 支援部門

###### ① 一日のスケジュール

	月曜～金曜		土曜・日曜・祝日
6:30	起床・モーニングケア		起床・モーニングケア
7:30	朝食		朝食
9:30～ 11:30	各居住区で体操、朝礼後、4～5人のグループで敷地内散歩。	農耕作業（近隣の畑）	余暇活動 個人的な活動 （買物やヘアカット）
		作業棟にて刺子、創作活動	
		ワークシステム 軽運動・リハビリ （理学療法士 火・木・土）	
11:30～	昼食		昼食
13:30～ 15:30	グループで敷地内散歩。	カラオケ	余暇活動 個別活動 （買物・ヘアカット）
		ミュージックケア	
	個別活動	ドライブ 買物・ヘアカット	
15:30～	入浴		入浴
18:00～	夕食		夕食
19:00～	余暇時間・イブニングケア		余暇時間・イブニングケア
22:00	就寝		就寝

###### ② 実施行事

実施日	企画行事	場所
4月 8日	お花見会&カレーパーティー	施設内駐車場
5月 20日	駐車場でのピクニック	施設内駐車場
6月 16日	田植え	近隣の田んぼ
7月 6日	蕨岡小学校との交流会（七夕）	施設内
8月 27日	バーベキュー	施設内駐車場
10月 15日	稲刈り	近隣の田んぼ
11月 26日	蕨岡小学校との交流会（芋掘り）	近隣の畑
12月 25日	クリスマス会	施設内
3月 30日	慰労会（ピクニック弁当）	施設内

##### (2) 看護部門

- ① 利用者及び職員の健康を維持するための取り組みを行い、利用者が疾病に罹患した場合の受診や療養の世話をを行い、健康を回復するための看護も展開しました。
- ② 理学療法士と連携し、運動機能の評価を行い、運動機能回復や維持を目的としたリハビリテーションを実施しました。

【定期健康診断】

実施日	内容	備考
4月24日	感染対策委員会	
5月7日	感染対策委員会/20日検尿	
6月3日	検尿	
8月21日	精神科健診	
9月24日	検尿	
10月9日	検尿2次/インフルエンザワクチン同意確認	
11月6日	胸部レントゲン健診/インフルエンザ予防接種	
12月10日	看護部会	岩田
12月25日	感染対策委員会	蕨岡（感染対策検討）
令和3年度課題	本年度は新型コロナ感染症の流行により精神科健診（1回のみ）、救命救急法についても見送る ・新型コロナ感染予防対策 ・年に1度の血液検査の実施（通院にて）	

【通院実績】

病院名		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	合計
4月	実人数	1	5		1			2	1				2	24	0	4	40
	延人数	2	6		1			2	1				2	24	0	5	43
5月	実人数		5									2	3	24	2	6	42
	延人数		5									4	3	27	4	6	49
6月	実人数	1	7			2			1	1		1	2	25	0	6	46
	延人数	1	9			2			1	1		1	2	25	0	11	53
7月	実人数	1	4		1			1	1			3	4	24	3	7	49
	延人数	1	6		1			1	1			7	4	24	3	15	63
8月	実人数	1	5				1		1			2	3	25	1	6	45
	延人数	1	5				1		1			4	3	25	1	10	51
9月	実人数		10	1	1		2	7		1	1	4	2	25	1	9	64
	延人数		11	1	1		2	7		1	3	6	3	25	1	12	73
10月	実人数	1	7						1		1	2	2	25	0	7	46
	延人数	1	10						1		2	2	3	25	0	12	56
11月	実人数		9				1					3	2	36	1	17	69
	延人数		9				1					5	2	82	1	35	135
12月	実人数	1	5			2			1	1	1	3	6	26	1	8	55
	延人数	1	6			2			1	1	1	12	7	27	3	17	78
1月	実人数		6		1						1	1	3	28	1	2	43
	延人数		6		1						2	2	4	31	1	4	51
2月	実人数	1	6				3		1				2	26	2	10	51
	延人数	1	6				3		1				2	29	2	14	58
3月	実人数		7							1		3	2	26	0	3	42
	延人数		7							1		8	2	29	0	9	56
合計	実人数	7	76	1	4	4	7	10	7	4	4	24	33	314	12	85	592
	延人数	8	86	1	4	4	7	10	7	4	8	51	37	373	16	150	766

※病院名称

①小原外科	④さくらクリニック	⑦高橋皮膚科	⑩正木整形	⑬渡川病院
②幡多けんみん病院	⑤歯科保健センター	⑧新谷歯科	⑪松岡歯科	⑭森下病院
③小島眼科	⑥市民病院	⑨幡多病院	⑫松本耳鼻科	⑮木俣病院

(3) 栄養部門

- ① 管理栄養士による利用者の健康や嗜好に配慮した食事の提供、季節ごとの行事食の提供を行いました。
- ② 咀嚼・嚥下機能の低下を防ぐための工夫を積極的に取り入れました。

(4) 事務部門

- ① 迅速で正確、丁寧な事務処理を行い、サービスの向上に努めました。

#### 4. 事故及びヒヤリハット

事故対応マニュアルに沿って対応し、事故の状況により、市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	1	1	2	5	7	7	5	14	13	11	7	2	75
事故報告	1	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	2	6
行政事故報告	1	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	2	8

行政事故報告：10月 → 利用者が居室にて死亡

10月 → 利用者が他の利用者に負傷を負わせた

#### 5. 苦情等

苦情受付・・・0件

当事業所における苦情や相談は、下記の相談窓口で受け付けしました。

相談窓口	苦情受付担当者：西田 多恵（サービス管理責任者） 苦情解決責任者：島村 忠司（管理者） 第三者委員：大塚 和助（社会福祉法人一条協会 監事） 山沖 直樹（司法書士） 上田 宜洋（社会保険労務士） 利用時間：9：00～17：00（土・日・祝日除く） 電話番号：0880-32-1177 FAX番号：0880-32-1888
------	---

## 7. 職員体制

### (1) 職員体制（令和3年3月31日現在 在職者数）

職種		正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者						1	1
サービス管理責任者		1					1
支援員	生活支援員	13	1	5	4	7	30
	夜勤専門				2		2
	ハウスキーパー				4		4
看護職員		1					1
理学療法士					1		1
管理栄養士		1					1
調理員		2		2	1		5
事務職員		1		1			2
合計		19	1	8	12	8	48

※ 他事業所との兼務職員：管理者1名、事務職員1名

- ・本年度利用者43名に対し、生活支援員は36名（うち10名パート）で、人員配置体制加算（I）1.7:1の人員配置体制を敷くことはできました。
- ・常勤の生活支援員26名のうち福祉専門職員（介護福祉士）が10名で、福祉専門職員配置等加算（I）の人員配置体制を敷くことはできました。

## 8. 研修・会議等

### (1) 外部研修

支援サービスの充実を図る為の職員研修を実施。

開催日	実施主体	研修名
7月18日	高知県社会福祉協議会	5S研修
7月29日	高知県社会福祉協議会	先輩研修
8月4日	四万十市福祉事務所	新型コロナウイルス感染予防研修会
8月5日	高知県社会福祉協議会	アンガーマネジメント研修
9月29日	高知県社会福祉協議会	アサーティブコミュニケーション研修
10月6日	高知県社会福祉協議会	ファシリテーション研修
10月8日	高知県社会福祉協議会	中堅職員ファーストステップ研修
10月9日	高知県地域福祉部障害福祉課	サービス管理責任者等基礎研修（全体講義）
11月30日	高知県地域福祉部障害福祉課	サービス管理責任者等基礎研修（演習グループ1）
12月9日	高知県社会福祉協議会	高知県災害派遣福祉チーム（第1期）養成研修

- ・種々の研修派遣を予定していたが、コロナ感染症対策で中止や「web」での開催が主流でした。
- ・他法人との合同研修や、他法人から職場内研修及び困難事例ケース検討会などへの講師招聘を通じて、施設間交流の機会を増やす予定であったが、コロナ感染症対策で活動することができませんでした。

階層	研修課題	主要な研修・会議
管理者	<ul style="list-style-type: none"> <li>福祉サービスの経営・管理に関する知識や技術の獲得</li> <li>高い倫理観を持ち、福祉を推進する</li> </ul>	施設長・幹部職員研修 経営・マネジメント研修 異業種交流
指導的職員	<ul style="list-style-type: none"> <li>高度な専門知識や技術の習得</li> <li>職員指導を通じて、リーダーの役割を自覚する</li> </ul>	施設長・幹部職員研修 事例研究
中堅職員 (3年～)	<ul style="list-style-type: none"> <li>実践的知識と技術の習得</li> <li>実践的問題解決能力の習得</li> </ul>	中堅職員研修
新任職員 (1～2年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的知識と技術の習得</li> <li>チームワークを理解する</li> </ul>	新任職員研修

(2) 内部会議

- ・職員会議（毎月第3水曜日）
- ・施設運営会（第1・第3水曜日）
- ・ケース会議（毎月第3水曜日）
- ・個別支援計画検討会議（8月、2月）

(3) 外部会議

開催日	主催	会議名
10月26日	連絡協議会(古津賀)	第1回 四万十市障害福祉関係事業所連絡協議会
11月6日	高知県知的障害者福祉協会	高知県知的障害者福祉協会障害者支援施設部会 (WEB)
12月17日	高知県知的障害者福祉協会	「新型コロナウイルス感染症相互支援ネットワーク」(西部) (WEB)
1月17日	高知県知的障害者福祉協会	四国施設長会(WEB)
2月9日	高知県知的障害者福祉協会	「新型コロナウイルス感染症相互支援ネットワーク」構築に係る検討会(西部) (WEB)
3月17日	高知県知的障害者福祉協会	第2回理事会(WEB)

## 9. 防災対策

(1) 別途定める防災マニュアルに基づき対応しました。

実施日	内容
5月28日	避難訓練
6月17日	総合訓練、消火訓練、通報訓練
7月15日	避難訓練
12月16日	総合訓練、消火訓練、通報訓練

## 10. 総括

古津賀拠点の改装工事が終了後、2月2名、3月3名、成人部より計5名の利用者の法人内の施設間移動を実施。並行して現在の定員53名から43名への定員変更を行い、更に今後は、3名の利用者の法人内の施設間移動を視野に入れて、定員40名の実現を目指します。

令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：多機能型事業所 四万十工房

事業種名：就労継続支援 A 型事業  
生活介護事業



# 令和2年度 多機能型事業所 四万十工房 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

### (1) 利用者支援総括

#### ① 就労継続支援A型事業所 四万十工房

A型事業の対象は「通常の事業所で雇用されることは困難だが、雇用契約に基づく就労が可能な方」であり、個人の障害に配慮した個別支援計画に基づき生産活動の機会等の提供を行い、職員の配置や状況により柔軟に対応できました。

#### ② 生活介護事業所 四万十工房

生活介護事業においては、外部の受託業務(市庁舎清掃作業、百円均一商材)と農福連携によるピーマン袋詰をごり工房と共同して実施し、個人の障害に配慮した個別支援に努め、職員の配置や状況により柔軟に対応できるように努めました。また、日常生活上の支援、生産活動の機会等の提供を行い利用者支援に当たっては、個々の利用者に即した支援計画を策定し職員間の連携体制を整え、職員の配置や状況により柔軟に対応しました。

## 2. 【令和2年度の重点課題】

### (1) 利用者視点に立った支援を行う

利用者と生活支援員の安心感や共感に基づく信頼関係を構築し、利用者の意思を尊重した話し合いのもと、反映された個別支援計画に基づいた支援を実施しました。

### (2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

職員全員が虐待防止マニュアルを遵守し、虐待及び不適切支援防止に取り組みました。

### (3) 働きがいのある職場づくり

職員が提案や意見を述べやすいような職場環境づくりを行いました。

## 3. 購入・工事関係

### (1) 購入関係

- ① 令和2年7月 → ごり・四万十共用送迎車両
- ② 令和2年8月 → 薪割り機
- ③ コロナ感染症対策補助金対象事業で衛生用品購入

### (2) 工事関係

#### ① 受変電設備統合工事

現状のごり工房、四万十工房と建屋ごとに受電契約しているのを四万十工房の高圧受電を廃止し、ごり工房から送電することで契約を一本化(受電設備の統合により電気料金の削減が見込まれる)を計画しましたが、業者の見積金額に乖離があり、再度精査することとし保留しました。

#### 4. 利用者状況（令和3年3月31日現在）

##### (1) 就労継続支援A型

- ① 定員・現員状況 定員：10名  
現員：8名(男7名・女1名)
- ② 利用者平均年齢 35.2歳（男性：31.7歳 女性：39.0歳）
- ③ 平均障害支援区分 3.2

障害区分	男性	女性	合計
区分 6	0	0	0
区分 5	0	0	0
区分 4	3	0	3
区分 3	2	1	3
区分 2	1	0	1
区分 なし	1	0	1
合計	7	1	8

##### (2) 生活介護

- ① 定員・現員状況 定員：10名  
現員：12名(男5名・女7名)
- ② 利用者平均年齢 39.7歳（男性：34.5歳 女性：43.4歳）
- ③ 平均障害支援区分 3.66

障害区分	男性	女性	合計
区分 5	0	1	1
区分 4	2	3	5
区分 3	3	3	6
区分 2	0	0	0
合計	5	7	12

#### 5. 支援内容

##### (1) 就労継続A型の日中活動（定員10名・現員8名）

営業時間	8：30～17：15		
作業科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 原板仕入・原板乾燥</li> <li>● パテ・手直し</li> <li>● サンダー加工補助</li> <li>● エンドマッチ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 埋め木</li> <li>● 塗装補助</li> <li>● 梱包</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● モルダー加工補助</li> <li>● 薪割り作業</li> <li>● 丸太椅子作製・ディスプレイ台</li> </ul>
製品 アイテム	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 『桧・杉』2m・3m・4m×108×15 フローリング材</li> <li>● 『桧・杉』2m×90×10 ピーリング材</li> <li>● 『桧・杉』2m×105×10 ピーリング材</li> <li>● 丸太椅子・直径30cm～34cm×高さ40cm～50cm</li> </ul>		

主 な 得意先	龍馬市場、西部木材センター、高幡木材センター、高知木材センター、太洋木材、 入交産業、ネクストオカモト、杉本住宅産業、(株)カツマジヤパン etc.	
売 上	フローリング材	13,879,317 円
	薪束	2,063,500 円
	丸太イス	713,050 円
	合計	16,655,867 円

(2) 生活介護事業所 四万十工房の日中活動

営業時間	8:30～16:30	
生活支援	利用者一人ひとりの障害特性を考量して、少しでも一人で出来る事を増やせるように模索しながら支援を行いました。	
基本活動	<p>(趣味活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 創作活動、アート作品制作、散歩、レクリエーション活動等</li> </ul> <p>(作業科目)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 市庁舎5Fフロア清掃受託作業</li> <li>● 「M」受託作業(ポプリ、桧木材シール貼付等百均商材)</li> <li>● 手芸(アクセサリ・キーホルダー等)作成</li> <li>● 農福連携作業の一環でピーマン袋詰(10月～6月)</li> </ul> <p>以上、簡単な作業を取入れる事で全員が作業に参加出来るようにしました。 作業時間の厳守など、作業への取り組み姿勢の向上を図りました。</p>	
主な売上	市庁舎清掃	692,120 円
	「M」受託作業	240,998 円
	ピーマン袋詰め・薫作業	602,693 円
	道の駅 その他	342,823 円
	合計	1,878,634 円
工賃	利用者工賃	1,009,137 円
健康管理	内科検診 (1回/年) レントゲン (1回/年) 歯科検診 (1回/年) 精神検診 (1回/年)	

(3) 実施行事

実施日	名称・内容等	場 所
4月21日	野外活動	三原村・蛍湖
5月25日	磯遊び	名鹿海岸
6月24日	お菓子づくり	四万十事業所内
7月22日	足摺海洋館	SATOUMI
9月19日	遠足	佐川地質館
10月29日	コスモス公園	三原星が丘公園
11月18日	スポーツ大会	黒潮町体育館
12月24日	クリスマス会	生活介護事業所四万十工房内

## 6. 事故・ヒヤリハット

事故対応マニュアルに沿って対応し、事故の状況により、市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
事故報告	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
行政事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

9月 → 利用者が作業中に左手甲に切り傷を負った。

3月 → 利用者同士の諍い。

## 7. 苦情等

苦情受付・・・0件

当事業所における苦情や、相談は、下記の相談窓口で受け付けました。

相談窓口	苦情受付担当者	： 大崎 太郎	(四万十工房・サービス管理責任者)
	苦情解決責任者	： 島村 忠司	(管理者)
	第三者委員	： 大塚 和助	(社会福祉法人一条協会 監事)
		山沖 直樹	(司法書士)
		上田 宜洋	(社会保険労務士)
	利用時間	： 9：00～17：00 (土・日・祝日除く)	
	電話番号	： 0880-31-0446	
FAX番号	： 0880-31-0447		

## 8. 防災対策

(1) 別途定める防災マニュアルに基づき対応しました。

実施日	内容
7月15日	避難訓練
9月1日	シェイクアウト訓練
10月8日	消火訓練
2月25日	避難訓練
3月30日	通報訓練

## 9. 職員体制

(1) 職員体制（令和3年3月31日現在 在職者数）

【A型・・・法定支援員配置 7.5:1】【生活介護・・・法定支援員配置 6:1】

職種	正職員	準職員	臨時	パート	再雇用	合計
管理者					1	1
サービス管理責任者	1					1
生活支援員	1		1		1	3
作業指導員	1					1
事務員	1					1
看護師				1		1
調理員				1		1
合計	4	0	1	2	2	9

※他事業所との兼務職員：管理者1名、事務員1名、看護師1名

## 10. 研修・会議等

(1) 外部研修

支援サービスの充実を図る為の職員研修を実施しました。

開催日	実施主体	研修名
7月18日	高知県社会福祉協議会	5S研修
7月29日	高知県社会福祉協議会	先輩職員研修
8月5日	高知県社会福祉協議会	アンガーマネージメント
9月24日	高知県社会福祉協議会	強度行動障害支援者養成講習(基礎)
11月4日	高知県社会福祉協議会	強度行動障害支援者養成講習(基礎)

(2) 内部会議

- ・職員会議（毎月第3水曜日）
- ・ケース会議（毎月第3水曜日）
- ・施設運営会（毎月第1水曜日）
- ・個別支援計画検討会議（8月、2月）

(3) 外部会議

開催日	実施主体	研修名
10月26日	連絡協議会(古津賀)	第1回 四万十市障害福祉関係事業所連絡協議会
11月6日	高知県知的障害者福祉協会	高知県知的障害者福祉協会障害者支援施設部会 (WEB)
12月17日	高知県知的障害者福祉協会	「新型コロナウイルス感染症相互支援ネットワーク」(西部) (WEB)
1月17日	高知県知的障害者福祉協会	四国施設長会 (WEB)
2月9日	高知県知的障害者福祉協会	「新型コロナウイルス感染症相互支援ネットワーク」構築に係る検討会 (西部) (WEB)

## 1 1. 総括

- ① 営業担当が不在で積極的な受注活動が困難（建材屋ルート、製材所ルート、市場ルート、工務店ルートなど系列化の中で関係性を築けない。）であり、今後の課題はリードタイムや価格面の検討が必要と考えます。
- ② 丸太イスやディスプレイ台と共にエンドユーザーなどに向けたネット通販の販路拡大に向け受注体制の構築が必要と考えます。
- ③ 来年度は木材加工の専門知識を持った職員の高齢化に伴い、後継者問題も潜在化しているので後進の育成が必要と考えます。
- ④ 生活介護事業では市庁舎清掃や百円均一商材下請け業務、農福連携作業を実施しました。

令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：生活介護事業所 ごり工房

事業種名：生活介護事業



# 令和2年度 生活介護事業所ごり工房 事業報告書

## 1. 事業の実施概要

### (1) 運営方針

個別支援計画を基本に、利用者の障害に配慮した個別支援に努めます。また、自己選択・自己決定の力をつけるため、個々の趣味活動への支援や社会体験の場を提供し、自己決定支援へと繋げる努力を続けます。

生活介護事業においては、外部の受託業務（ゴルフボール洗浄作業、百円均一商材）と農福連携によるピーマン袋詰や藁段ボール詰め作業等を四万十工房と共同して行い、ふれあいの場を提供し変化を持たせる工夫を計画に盛り込みながら、職員間の連携体制を整え、職員の配置や状況により柔軟に対応できるよう努めました。

## 2. 【令和2年度の重点課題】

(1) 利用者視点に立った支援を行いました。

(2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

職員全員が虐待防止マニュアルを遵守し、虐待及び不適切支援防止に取り組み、職員会などで周知を図りました。

(3) 働きがいのある職場づくり

- ① 職員が提案や意見を述べやすいような職場環境づくり
- ② 職場での相談体制の早期構築

## 3. 購入・工事関係

(1) 購入関係

- ① 令和2年7月 → ごり・四万十工房共用送迎車両
- ② コロナ感染症対策補助金対象事業で衛生用品購入

(2) 工事関係

① 受変電設備統合工事

現状のごり工房、四万十工房と建屋ごとに受電契約しているのを四万十工房の高圧受電を廃止し、ごり工房から送電することで契約を一本化（受電設備の統合により電気料金の削減が見込まれる）を計画しましたが、業者の見積金額に乖離があり、再度精査することとし保留しました。

#### 4. 利用者状況（令和3年3月31日現在）

##### (1) 生活介護事業所 ごり工房

- ① 定員・現員状況 定員 20名  
現員 19名（男15名・女4名）
- ② 利用者平均年齢 36.6歳（男性：37.5歳 女性：33.6歳）
- ③ 利用者状況 区分 平均障害支援区分 4.23 配置基準 5：1

障害程度区分	男性	女性	合計
区分 6	2	1	3
区分 5	2	1	3
区分 4	9	2	11
区分 3	2	0	2
区分 2	0	0	0
合計	15	4	19

#### 5. 支援内容

個別支援内容に基づいて、支援を行いました。その中で利用者や家族との協力を基に一人ひとりが穏やかで、落ち着いた日中活動の支援を心掛けるようにしました。

##### (1) 生活介護日中活動

営業時間	8：30～16：30	
生活支援	利用者一人ひとりの障害特性を考慮して、少しでも一人で出来る事を増やせるように支援を行いました。	
基本活動	(趣味活動) ● 創作活動、スピリットアート作品制作、散歩、レクリエーション、リズム体操、ミュージックケア等  (作業科目) ● 農福連携事業（ピーマン・藁のダンボール梱包等） ● 梱製品の百貨商材の受託作業 ● 端材を活用したアクセサリー・キーホルダー等グッズ作成 ● 「ケナフ」皮剥ぎ（2～3月）  以上簡単な作業を取入れる事で全員が作業に参加出来るようにし、作業時間の厳守など、作業への取り組み姿勢の向上を図りました。	
社会生活・参加	● 作成した製品を「道の駅」「ホテル」など人の集まる場所に端材工作の販売・商品補充。 ● ぼっち村と連携し、整容、挨拶等、基本的社会ルールを身につけてもらえるよう支援を行いました。 ● 衛生・健康管理については、手洗い、うがいの見守り、必要に応じて正しいやり方の指導を行いました。	
売上	ピーマン袋詰	1,377,560円
	藁段ボール詰	1,107,900円
	「M」受託作業	497,772円
	ケナフ・道の駅販売	919,554円
	合計	3,902,786円
	利用者工賃	986,608円
健康管理	内科検診（2回/年）胸部レントゲン（1回/年） 歯科検診（1回/年）精神検診（1回/年）	

(2) 実施行事

実施日	名称・内容等	場 所
4月24日	森林浴	香山寺
5月29日	リフレッシュ・ドライブ	下田公園・宿毛方面
6月10日	カラオケ&DVD鑑賞	ごり工房事業所内
7月15日	炊き出し体験・貝殻拾い	ごり工房事業所内・清水方面
8月26日	BBQ	ごり工房事業所内
9月11日	木工品作製	ごり工房事業所内・清水方面
10月15日	SATOUMI 水族館	清水方面
11月 4日	ミカン狩り	竹島農園
12月23日	クリスマス会	ごり工房事業所内

6. 事故・ヒヤリハット

事故対応マニュアルに沿って対応し、事故の状況により、市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
事故報告	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
行政事故報告	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

4月 → 利用者間トラブル

5月 → ピーマン破損

11月 → 利用者さんが自分で後頭部の頭髪の裾を切った。

7. 苦情等

苦情受付・・・0件

当事業所における苦情や相談は、下記の相談窓口で受け付けしました。

相談窓口	苦情受付担当者：山本 さゆり (サービス管理責任者) 苦情解決責任者：島村 忠司 (管理者) 第三者委員：大塚 和助 (社会福祉法人一条協会 監事) 山沖 直樹 (司法書士) 上田 宜洋 (社会保険労務士) 利用時間：9:00～17:00 (土・日・祝日除く) 電話番号：0880-31-0446 F A X 番号：0880-31-0447
------	---

## 8. 職員体制

(1) 職員体制（令和3年3月31日現在 在職者数）

【 生活介護・・・法定支援員配置 5：1 】

職 種	正職員	臨時職員	再雇用	パート	合計
管理者			1		1
サービス管理責任者	1				1
生活支援員	2	3	1	1	7
看護職員				1	1
管理栄養士	1				1
調理員				1	1
事務員	1			1	2
合計	5	3	2	4	14

※ 兼務職員：管理者1名、生活支援員3名、栄養士1名、事務員1名

## 9. 研修・会議等

(1) 外部研修

支援サービスの充実を図る為の職員研修を実施。

開催日	実施主体	研修名
10月6日	高知県社会福祉協議会	ファシリテーション研修

(2) 内部会議

- ・職員会議（毎月第3水曜日）
- ・施設運営会（第1水曜日）
- ・ケース会議（毎月第3水曜日）
- ・個別支援計画検討会議（8月、2月）

(3) 外部会議

開催日	主催	会議名
10月26日	連絡協議会(古津賀)	第1回 四万十市障害福祉関係事業所連絡協議会
11月6日	高知県知的障害者福祉協会	高知県知的障害者福祉協会障害者支援施設部会（WEB）
12月17日	高知県知的障害者福祉協会	「新型コロナウイルス感染症相互支援ネットワーク」（西部）（WEB）
1月17日	高知県知的障害者福祉協会	四国施設長会（WEB）
2月9日	高知県知的障害者福祉協会	「新型コロナウイルス感染症相互支援ネットワーク」構築に係る検討会（西部）（WEB）
3月17日	高知県知的障害者福祉協会	第2回理事会（WEB）

## 10. 防災対策

(1) 別途定める防災マニュアルに基づき対応しました。

実施日	内容
7月15日	避難訓練
9月1日	シェイクアウト訓練
10月8日	消火訓練
2月25日	避難訓練
3月30日	通報訓練

## 11. 今後の課題

生活介護事業としての役割を果たす事を大前提として、利用者誰もが携われる作業を受託して利用者の出来る範囲を拡大して行きたいと思えます。



令和 2 年 度  
社会福祉法人 一条協会  
事業報告書

事業所名：共同生活援助事業所 ぼっちり村

事業種名：共同生活援助事業（介護サービス包括型）



# 令和2年度 共同生活援助事業所 ぼっちり村 事業報告書

## 1. 事業の実施状況

### (1) 運営方針

- ① 本人の「思い」を尊重し、個々の能力や障害特性に考慮しながら、ニーズに基づいた個別支援計画を作成し、利用者主体の支援を行いました。
- ② リスクマネジメントとして、適宜各種マニュアルの整備・見直しを行いながら事故防止を図り、事故発生時には迅速適切な対応ができるよう努めました。
- ③ 職員研修などにより支援の質の向上を目指し、「利用者に選ばれる事業所」となるよう努めました。

## 2. 【令和2年度の重点課題】

### (1) 利用者視点に立った支援を行いました。

### (2) 虐待及び不適切支援防止の徹底

職員全員が虐待防止マニュアルを遵守し、虐待及び不適切支援防止に取り組み職員会など周知を図りました。

### (3) 働きがいのある職場づくり

- ① 職員が意見や提案ができる職場環境整備
- ② 職員の希望を業務上支障のない範囲でできる限り反映した勤務の組み立てをするとともに、年間の年次有給休暇の取得5日以上はクリアしました。

### (4) レクリエーション

利用者はもちろん、職員も一緒に「楽しめる」「楽しみにできる」内容とできるように、可能な限りみんなの意見を取り入れて企画を行い、地域のイベント参加についても希望者が参加できるようにしたが、コロナ感染症の影響であまり実施できませんでした。

## 3. 購入・工事関係

### (1) 購入関係

- ① やまびこ荘1階（旧相談支援事業所わかふじ）  
会議室、面談室、休憩室、夜間支援員待機場所として使用するための備品購入（応接セット、テーブル、イスなど）
- ② コロナ感染症対策補助金対象事業で衛生用品購入

### (2) 工事関係

特になし



## 5. 支援内容

支援項目	支援内容
食事提供支援	平日（朝食、夕食） 休日（朝食、昼食、夕食）
金銭出納支援	金銭の使用（ショッピング等）及び金銭管理（小遣い帳）
健康管理支援	朝夕の健康状態チェック、生活習慣病の治療と予防、服薬管理 受診通院対応
相談・助言支援	社会生活 共同生活のルールとマナー（公共の場・交通ルール）
余暇支援	散歩や運動及び外食、休日のショッピング、地域行事への参加
家族支援	本人及び家族のニーズの把握 帰省の連絡調整（週末・年末・年始・GW・お盆）

## 6. 看護関係

### (1) 看護部実施記録

実施日	ごり工房	四万十工房（生活介護）	ぼっちり村
5月20日	検尿		
6月3日	検尿二次		
8月21日	精神科健診		
9月24日	検尿		
9月30日	内科健診		
10月9日	検尿二次		
10月14日	歯科検診		
11月14日	インフルエンザ予防接種開始		
11月20日	AED講習		
12月25日	感染対策資料配布		感染対策講習

### (2) 事業所別対策

ごり・四万十工房： 血圧及び体重測定（月1回）

四万十工房（A型）： 個別健康相談（健診後フォロー）

ぼっちり村： 市役所各種がん検診対象者の検診（肺がん、大腸がん、乳がん、子宮頸がん）

各利用者通院計画

昨年度課題であった健診機会のない利用者の健康管理を医療機関での健診受診にて対応

感染対策： 新型コロナ感染症予防徹底のための対策実施、環境整備、物品管理、備蓄準備

8/4 幡多福祉保健所主催感染予防対策研修会参加

看護部会：（岩田、蕨岡にて感染対策検討）

### 【 来年度課題 】

新型コロナ感染予防対策： 感染予防の徹底

ぼっちり村： 歯科はみがき指導強化（事業所での活動の協力を得て実施予定）

感染対策委員会今年度開催なし、協会統一の感染対策マニュアルの作成、見直しの実施

## (3) 通院記録表(延人数)

		精神科	内科	整形	外科	泌尿器	皮膚科	耳鼻科	眼科	歯科	婦人科	合計
4月	実人数	14	6		2		3	1		1		27
	延人数	26	6		4		3	1		1		41
5月	実人数	14	6		1		3	1	3	3		31
	延人数	15	6		1		4	1	3	4		34
6月	実人数	17	5	2			3	1		5		33
	延人数	17	7	3			3	1		7		38
7月	実人数	16	5	1	2		2	1	1	3		31
	延人数	17	5	2	3		2	1	1	4		35
8月	実人数	16	5	1	1		1	1		2		27
	延人数	17	5	1	4		1	1		3		32
9月	実人数	16	6	1	2		1	2		3		31
	延人数	16	6	1	5		2	2		4		36
10月	実人数	15	11	1	2			2		18	1	50
	延人数	15	12	1	2			2		25	1	58
11月	実人数	17	1	1	1		2			21	1	44
	延人数	30	1	1	3		2			49	1	87
12月	実人数	15	9		1				1	18		44
	延人数	15	10		1				1	30		57
1月	実人数	14	3				1	2	1	10		31
	延人数	14	3				1	2	1	25		46
2月	実人数	15	12					1	1	10		39
	延人数	15	14					1	1	14		45
3月	実人数	15	14	1		1	1	5		7		44
	延人数	16	14	1		1	1	6		11		50
合計	実人数	184	83	8	12	1	17	17	7	101	2	432
	延人数	213	89	10	23	1	19	18	7	177	2	559

## 7. 事故・ヒヤリハット

事故対応マニュアルに沿って対応し、事故の状況により、市町村、県への報告をガイドラインに沿って実施しました。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
ヒヤリハット	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	4
事故報告	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
行政事故報告	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2

ヒヤリハット：5月 → シェーバーで眉毛を剃る 1月→階段で滑る 2月→薬取違い、浴室清掃中転倒

事故報告：6月 → 利用者間の諍い。

行政事故報告：9月 → 利用者さんの転倒、犬に噛まれる。

## 8. 苦情等

苦情受付・・・0件

当事業所における苦情や相談は、下記の相談窓口で受け付けしました。

相談窓口	苦情受付担当者	： 畑中 基 (サービス管理責任者)
	苦情解決責任者	： 島村 忠司 (管理者)
	第三者委員	： 大塚 和助 (社会福祉法人一条協会 監事)
		： 山沖 直樹 (司法書士)
		： 上田 宜洋 (社会保険労務士)
	利用時間	： 9：00～16：00 (土・日・祝日除く)
	電話番号	： 0880-34-9380
FAX番号	： 0880-34-5880	

## 9. 職員体制

### (1) 職員体制 (令和3年3月31日現在 在職者数)

職 種	雇用形態					
	正職員	世話人	再雇用	パート タイム	兼務	合計
管理者					1	1
サービス管理責任者	2					2
生活支援員	1				1	2
世話人		4	6	5		15
看護職員					1	1
事務員					1	1
合計	3	4	6	5	4	22

### (2) 職員勤務状況

	ホーム名	勤務内容		
市 内	ひかり荘	世話人 (開所日)	5:30 ~ 8:00	16:00~20:00
	のぞみ荘		(閉所日)	10:00 ~ 13:00
	こだま荘	生活支援員	8:30 ~ 17:30	※必要に応じて適宜
	あおい荘Ⅰ			
あおい荘Ⅱ				
岩 田 地 区	やまびこ荘	世話人 (開所日)	6:00 ~ 8:30	16:00~20:00
	とき荘		(閉所日)	6:00 ~ 13:15
	いちご荘	生活支援員	8:30 ~ 17:30	※必要に応じて適宜
	うさぎ荘			

※各ホーム世話人は常勤で配置。  
 ※サービス管理責任者 平日 8:30~17:30

## 10. 研修・会議等

### (1) 外部研修

支援サービスの充実を図る為の職員研修を実施。

開催日	実施主体	研修名
8月 5日	高知県社会福祉協議会	アンガーマネジメント

支援の質の向上に向けて、様々な研修に参加するとともに、研修内容を職員会等で職員に還元できるよう取り組んでいきます。

### (2) 内部会議

ぼっちり村職員会	毎月	25日を目安 8:30より
岩田地区職員会	毎月	成人部職員会に準ずる
ケース検討会議	適宜	必用に応じて随時
岩田地区運営会議	毎月	第1木曜日 管理者・主任・サビ管
個別支援計画検討会議	年2回	8月・2月を目安（必要に応じて随時）

## 11. 防災対策

### (1) 別途定める防災マニュアルに基づき対応しました。

実施日	内容
7月 15日	避難訓練
9月 1日	シェイクアウト訓練
10月 8日	消火訓練
2月 25日	避難訓練
3月 30日	通報訓練

### (6) 避難場所

	ホーム名	避難場所
1	岩田地区4ホーム (やまびこ・ときいちご・うさぎ)	ごり工房2階食堂 利岡小学校・岩田地区集会所
2	ひかり荘	具同小学校・防災センター
3	のぞみ荘・あおい荘（Ⅰ）（Ⅱ）	中村小学校・市役所
4	こだま荘	中央公民館・南小学校

## 11. 今後の課題

令和2年度中に運営実態の改善を行う

### (1) 夜間支援体制について

現状：岩田地区は支援員2名、2勤2休の勤務体制。毎日19:00～6:00支援を実施。

その他の地区は支援員2名、月間25日程度19:00～24:00支援を実施。

※支援員が不足。また男性2名、女性1名のため、女性利用者の支援に入れられないなどの問題あり。

### (2) グループホームの編成について

現状：あおい荘Ⅰ・Ⅱは浸水被害の経過措置として、利用者2名を分散して入居。

(3) 職員配置について

- ① 世話人の配置を5:1とするため、平成30年12月期より各ホームに世話人を固定するとともに必用分のパート世話人を配置しました。
- ② 岩田地区の定員が23名であり、大規模住居減算に該当するため、うさぎ荘の勤務体制を別建てとし、職員配置を調整しているが、定員20名以下で該当外となるために、岩田地区のやまびこ荘、いちご荘、うさぎ荘の各定員を5名とし、岩田地区を定員20名にするよう調整していきます。